



～失敗やトラブルを学びに変える教育～

<☆ともだち大好き！☆学ぶの大好き！☆じぶん大好き！>

『生活科・総合的な学習の時間』充実の秋

2学期が始まって2か月、充実の10月も半ば、過ごしやすい秋の天候に背中を押され、子どもたちは様々な学習に意欲的に取り組んでいます。

中でも、特に充実しているのが、「生活科」や「総合的な学習の時間」。保護者世代にはちょっとピンとこない教科かも知れませんが、これらの学習は、国語や算数だけでは決して身につかない力が育まれるものです。総合的な学習の時間は、「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断する力を養う、探究的な学習」をその目的としています。つまりは、興味関心を高め、そこから疑問や課題を見出して、解決法を考え実践する。それらの活動を通して判断力を養うものとなります。

今年の5年生の「米作り」を例にとって説明すると、学習（体験）をとおして、毎日の水の管理の大変さ、水の大切さに気付きます。更には、実った米が雀に食い荒らされる現場を見て、何とかしなくては…、という切実な課題に直面します。そして、それらを解決する方法として、雀を追い払う案山子や鳥追いの装置を考え、材料をそろえ道具を駆使してそれらをつくりだし、学習の最後に収穫し食す。これらの探究的な学習そのものが、総合的な学習の時間のねらいです。

今年度の各学年の生活科と総合的な学習の時間の、主なテーマは次のとおりです。

<生活科1～2年生>

1年生：たのしいあき・あきのおもちゃをつくろう。

2年生：まちたんけん（学校のまわりをたんけんしよう）

<総合的な学習の時間>

3年生：玉川村大発見（地域の不思議調べ）

4年生：福島県を調べよう。・自分を振り返ろう。

5年生：挑戦！米作り・石川支援学校たまかわ校と交流しよう

6年生：将来の夢、職業について考えよう。（キャリア教育）

7日（金）、3年生は「玉川村大発見」の授業を行いました。おなじみの玉川村特産「さるなし」の収穫体験です。当日はあいにくの雨模様でしたが、前々日よりカッパ（雨具）や長靴を準備し用意周到でしたので、雨の中でも楽しい時間を過ごすことができました。予め天気を予想し準備を進めることも大切な学びです。初めて「さるなし」を口にする子どもたちがほとんどで、体験することの大切さを改めて感じました。

今回の諸経費は、福島県森林環境学習税の助成費を活用しました。

18日（火）は2年生の2度目の「まちたんけん」。実は9月末に役場周辺の下見を兼ねて学年一斉に見学しました。今回はその時に気になった場所や探検したい場所へチームごとに出かけました。途中で道路を横切る箇所もあり安全面での注意が必要でしたが、今回の「たんけん」は地域のボランティア4名の方々がそれぞれのチームについてくださいましたので安心です。

ボランティアの皆様だけでなく、役場、教育委員会、お寿司屋さんやスーパーの方々にも大変お世話になりました。

※写真はHPでも紹介しています。



10月 全校集会（半分が過ぎました）

日時：10月17日
場所：体育館

この数字を見てください。「107」

クイズです。いったい何の数字でしょうか？

ではこの数字を見てください。「204」？この数字は今年の授業日数です。

もう分かりましたね、4月6日の春の入学式から数えて今日は107日目です。

何か気づきましたか？そうですね、もう一年の半分が過ぎてしまったということです。

金曜日に1年生の算数の研究授業がありました。春には席を出歩いたり、大声を上げたりする友達もいましたが、金曜日はみんなが集中して、いっぱい頭を使って考えていました。「半年の間たくさん勉強して、こんなにも成長したんだなあ」と、先生はとても嬉しくなりました。皆さんの半年間はどうか？春に一人一人が立てた目標は順調に進んでいますか？クラスの目標はどうでしょう？よい機会ですから一度振り返って、目標を新たにできるといいですね。

来週の土曜日（29日）には、参観デーがあったり、11月の1日にはマラソン大会があったりして、大勢の地域の方やお家の方も皆さんの成長を見にいらっしやいます。よい機会なので、この日を目標に進んで取り組めるといいですね。そして、玉一つらしい元気な姿を見てもらいましょう。

この後、夏休み明けに、毎日休み時間や昼休みの時間も惜しんで練習に取り組んできた6年生の陸上大会や読書感想文の表彰があります。ですから校長先生のお話はちょっと短めでおしまいです。



<小体連陸上大会の入賞者たち>



<第3位男子4×100リレー>